

平成30年度 市長のまちづくりふれあいトーク



【八代地区】

《日時》

平成30年8月18日（土）

午後2時～

《場所》

八代自治会館

平成30年度 市政概要について

I 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～

がんセンターの整備や、健康寿命の延伸などを目的としたポイント制度導入の検討などの「福祉や地域医療の充実」、緊急浸水対策計画の策定などの「防災・減災対策」を重点的に推進します。

さらに、旧市民病院跡地での公民連携による新文化施設の整備など「公共施設跡地の活用」への取り組みを重点的に推進します。

II 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

市内に4つあるインターチェンジ周辺の各種調査などの「能越自動車道の利便性を活かした産業づくり」、名城大学農学部との連携強化などの「産学官の連携による産業の振興」、地域商品券の発行などの「地域内消費の拡大」への取り組みを重点的に推進します。

III 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～

「ストップ・ザ・少子化」のスローガンのもと、引き続き子育て支援や学校教育の充実に重点をおいた人口減少対策を重点的に推進します。

I 住みたい街～いのちとくらしを守る～

- 1) 高齢者・障がい者にやさしい街づくり
- 2) 若者の定住やＩＪＵターンの促進
- 3) 災害に強い街づくり
- 4) 安全・安心な街づくり

(主な事業)

【新規】金沢医科大学氷見市民病院におけるがんセンターの整備	5218万円
【拡充】旧市民病院跡地での公民連携による新文化施設の整備	733万円
【新規】緊急浸水対策計画の策定、浸水・土砂災害ハザードマップの作成	2147万円
【新規】市南部地区における消防出張所の整備	886万円

II 働きたい街～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

- 1) 企業誘致と創業支援の推進
- 2) 地場産業の育成
- 3) 大学・研究関係施設の誘致

(主な事業)

【新規】4つのインターチェンジ周辺の利活用の検討	531万円
【継続】大浦第2工業団地の造成(氷見市土地開発公社)	7億5000万円
【新規】地域内消費の拡大に向けた地域商品券の発行支援	778万円
【新規】名城大学農学部との連携強化	400万円

III 育てたい街～ストップ・ザ・少子化～

- 1) 子育てしやすい環境づくり
- 2) 学校教育の充実
- 3) 安心でゆとりのある環境づくり

(主な事業)

【新規】出生祝い制度の創設	2075万円
【新規】子育て世代包括支援センターの開設	577万円
【拡充】ひとり親世帯等の第1子保育料の無償化など	10億6373万円
【継続】小・中学校におけるICT教育の推進	6690万円

1 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ①

新規 金沢医科大学氷見市民病院がんセンター整備事業費 5,218万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

氷見市のがんによる死亡率は、全国と比べ高い水準にあります。今後も高齢化によるがんの罹患数や死亡数の増加が見込まれ、また、働き盛り世代の早世を防ぐためにも、がんの早期発見に有効なPET－CTや、がん治療に効果のあるリニアック(放射線治療器)を備えた「がんセンター」を整備します。

2. 平成30年度事業の内容

がんの早期発見に有効なPET－CTや、がん治療に効果のあるリニアック(放射線治療器)を備えた「がんセンター」を整備するため、**基本設計**及び**実施設計等**に着手します。

3. 求める効果

がんの早期発見、早期治療の実現



1 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ②

拡充 公民連携による新文化施設計画推進事業費 733万円(H29 523万円)

1. 事業の趣旨(現状と課題)

耐震性能不足のため、利用を停止した氷見市民会館に代わる新文化施設の整備が求められています。平成30年3月に示された「氷見まちなかグランドデザイン」に基づき、旧氷見市民病院跡地において「文化施設を核とした”まちの顔となる新シンボル”」として「(仮称)ひみ文化交流プラザ」の整備が急がれています。

2. 平成30年度事業の内容

「(仮称)ひみ文化交流プラザ」の公共施設部分の仕様書を作成するとともに、民間事業者の意向や参入可能性について市場調査しながら、公民連携による事業計画をとりまとめます。

3. 求める効果

芸術文化の発信や、多様な市民の交流と創造の拠点として賑わいの場の創出を目指します。
氷見ならではの魅力的な暮らしを提案する民間事業の創造のほか、広域的な交流活動や若者の起業など新たな活力の創造を目指します。



(仮称)ひみ文化交流プラザのイメージ

1 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ③

新規 緊急浸水対策事業費

2,147万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

平成29年7月の豪雨を受け、明らかとなった浸水対策の課題に対応するため、浸水した地区の具体的な浸水対策が必要になっています。また、県が新たに浸水想定区域図を作成することに伴い、避難場所や防災情報を記載した浸水・土砂災害ハザードマップを作成し、市民の減災意識の高揚を図る必要があります。

2. 平成30年度事業の内容

緊急浸水対策計画策定調査により、現状把握、課題の整理、対策の検討を行います。さらに、昨年度実施した概略設計に基づき、南部地区浸水対策神代排水路の実施設計を行うとともに、市内6河川の浸水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップを作成します。

3. 求める効果

浸水被害の早期軽減
住民の減災意識の高揚



1 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ④

新規

消防出張所整備事業費

886万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

高齢化社会の到来や能越自動車道の開通などにより、本市の火災や救急出動件数が増加傾向にあり、さらに、集中豪雨や地震、津波等の自然災害に対する対応に加え、テロ対策などの特殊災害に対する備えなど、消防・救急業務が多様化、複雑化しており、消防・救急救助体制の強化が求められています。

2. 平成30年度事業の内容

隣接する高岡市との広域消防の体制整備について協議するとともに、本市の救急出動件数の3分の1を占める市南部地区において消防出張所を整備するため、建設予定地の地質調査等を行います。

3. 求める効果

市南部地区への消防・救急救助出動における現場到着時間の短縮による被害の軽減及び救命率の向上



消防出張所のイメージ

1 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ⑤

新規 持続可能な地域づくり支援事業費

845万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

人口減少が進み、集落維持や存続が危ぶまれている中、地域にある様々な課題に対処し持続可能な地域づくりを行っていくためには、住民主体の取り組みが欠かせない状況となっています。

そこで、住民の自主性・自立性を活かし、地域の課題解決に向けた地域づくりを行う主体的な組織として地域づくり協議会の設立と活動の促進が必要とされています。

2. 平成30年度事業の内容

地域づくり協議会の設立に向けての取り組みから地域づくり協議会が取り組む地域づくり計画の策定及び組織運営など、**持続可能な地域づくりに向けて、進捗に応じた財政的支援を行います。**

- (1) 地域づくり協議会設立支援事業 10万円
- (2) 地域づくり計画策定事業 40万円
- (3) 持続可能な地域づくり事業
 - ① 独立公民館がない地域 1,676千円(人件費相当＋運営費相当)
 - ② 独立公民館がある地域 500千円(運営費相当)



仏生寺地域づくり協議会
防災マップづくり

3. 求める効果

市内21地域における地域づくり協議会の設立とその活動の促進

1 住みたい街 ～いのちとくらしを守る～ ⑥

拡充 地域活力施設等整備支援事業費 1,477万円 (H29 1,000万円)

1. 事業の趣旨(現状と課題)

住みよい地域づくりをきめ細やかに推進するため、自治会が自主的かつ計画的に取り組む社会資本施設等の整備に要する経費に対し、補助します。

2. 平成30年度事業の内容

補助対象の整備は次の事業であり、事業費の1/2(上限50万円)を補助します。

- ・道路、河川、水路、公園、広場、交通安全施設、観光施設及び土地改良施設等の**公共的な施設の整備(新設、改良及び修繕等)**や**被害防止対策(追加:道路沿いの樹木の伐採や鳥獣害からため池を守るもの等)**であること。
- ・市もしくは自治会が管理する施設であること。
- ・自治会が策定する**地域内の社会資本整備計画(3年間以内)に位置づけられている整備**であること。

3. 求める効果

地域の課題に対して、自主的かつ主体的に取り組む「地域力」が向上し、豊かで住みよい個性あるまちづくりを実現するとともに、地域の持続性を確保します。



公園の整備

2 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ①

新規

インターチェンジ周辺利活用検討事業費

531万円

1. 事業の趣旨（現状と課題）

能越自動車道の4つのインターチェンジが市内に整備され、この利便性などを効果的に活用し、今後の氷見市の成長の基礎をつくることが求められています。

2. 平成30年度事業の内容

4つのインターチェンジ周辺の現況特性や産業動向の調査を行い、その調査結果を踏まえ、関係機関の意見などを集約してインターチェンジ周辺の土地利用の方向性をとりまとめ、都市計画マスタープランの検討のプロセスに入れて方針を決定します。

3. 求める効果

能越自動車道の利便性を活かした産業づくりや人口増対策を推進します。



氷見南インターチェンジ周辺

2 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ②

継続

大浦第2工業団地造成事業【氷見市土地開発公社】 7億5千万円
(全体事業費 15億5千万円)

1. 事業の趣旨(現状と課題)

本市の産業振興のためには、将来の成長が期待できる企業や安定的な産業活動を展開する優良企業を対象とした重点的かつ継続的な企業誘致を進め、雇用の場の確保を図る必要があります。

2. 平成30年度事業の内容

本市の大浦・下田子・上泉・柳田地内に跨り、約11haに及ぶ面積を有する用地について、**大浦第2工業団地として、今年度内の完成を目指し造成工事を進めています。**

なお、この団地は、公募により、コマツ(東京都港区)が全て取得することが決定しています。

3. 求める効果

新たな雇用の創出による、定住人口の増加と地域産業の振興



整備中の大浦第2工業団地

2 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ③

新規 地域内経済循環促進事業費

778万円

1. 事業の趣旨（現状と課題）

氷見商工会議所が実施している消費喚起事業「買活！ひみ6億円プロジェクト」で実施したアンケート結果では、市内での消費意識が向上しています。しかし、依然として、市外での支出（消費）金額が多い状況です。市内の中小企業の振興を図るためには、域内経済循環率を高める必要があります。

2. 平成30年度事業の内容

市内での消費を拡大させ市内経済循環率を高めるために、氷見商工会議所が取り組む地域商品券「ひみキトキト商品券」事業の経費の一部を助成します。



ひみキトキト商品券（イメージ）

3. 求める効果

地域商品券利用に域内消費の促進により、域内経済循環率を高めます。

2 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ④

新規 大学連携推進事業費

400万円

1. 事業の趣旨（現状と課題）

社会環境の変化が早く、それに伴う地域課題が複雑化・高度化しているなか、地域特性があり、早期に対応が求められている課題については、専門性などを有している大学などとの連携・協力により、高度な取り組みが必要となっています。

2. 平成30年度事業の内容

平成29年11月に協定を締結した名城大学農学部と氷見高等学校との共同研究や助言による先進的な授業を行うとともに、産業の振興や食などのブランドの確立に向けて、氷見市・名城大学農学部連携協議会（仮称）を設立し、産学官の連携を推進します。

3. 求める効果

地方創生のモデルとなるような取り組みに発展させ、地域課題を解決します。



名城大学氷見市連携推進センター

2 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ⑤

新規 世界農業遺産認定推進事業費

560万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

本市には、約400年の歴史がある「越中式定置網」をはじめとする伝統的な農林水産業や、それにより育まれてきた食文化、伝統文化など先人から受け継がれてきた誇るべき地域資源が多く存在しています。そのため、これらの地域資源を社会環境などの変化に対応して次世代に継承していくことが必要となっています。

2. 平成30年度事業の内容

氷見農業遺産推進協議会を設立して、世界農業遺産への認定申請に係る承認及び日本農業遺産への認定申請を6月に行いましたが、1年間の短い期間で取りまとめたこともあり、一次審査の結果、承認及び認定を行うためには改善が必要という結果となりました。

次回に承認及び認定を受けるために、協議会で検討して改善を図りながら市全体の気運を高めていきます。



氷見沖の定置網

3. 求める効果

氷見のすばらしさを再認識する機会となり、認定を受けることにより住んでいる方々が愛着と誇りを持てるようになるとともに、農林水産物のブランド化や観光客の増加を通じて地域経済の活性化が図られます。

3 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ①

新規

出生祝い事業費

2,075万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

次世代を担う子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため出生祝い制度を創設し、合計特殊出生率の増を図ります。

2. 平成30年度事業の内容

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、新たに出生祝い制度を創設し、**出生祝い(地域商品券)**を贈ります。

第1子:5万円 第2子:10万円 第3子以降:20万円

3. 求める効果

本市における合計特殊出生率の増

基準値:1.37(H23～H27)

目標値:1.90(H33)



3 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ②

新規 子育て世代包括支援センター運営事業費

577万円

1. 事業の趣旨(現状と課題)

妊娠、出産、育児に不安を感じる妊産婦が増加しています。核家族化が進む中、親を頼れず、地域との関係も薄れ、周囲からの子育て支援を期待できなくなっている状況であります。

このため、妊産婦の不安感や孤立感を軽減し、安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりが求められています。

2. 平成30年度事業の内容

子育て世代包括支援センターを開設し、妊産婦や乳幼児の実情を把握するとともに、妊娠、出産、育児に関する相談に応じ、セルフプラン・支援プランの作成や関係機関との連絡調整を行います。産前・産後サポート事業や産後ケア事業を実施し、妊産婦や乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行います。



3. 求める効果

安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくり

3 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ③

拡充 民間保育所等施設給付事業費 10億6,373万円（H29 10億439万円）

1. 事業の趣旨（現状と課題）

富山県が実施した子育て家庭に対する意識調査では、「子育てや教育にはお金がかかりすぎる」（70.2%：1位）という意見も多くあることから、子育て世帯に対する経済的負担の軽減が求められています。

2. 平成30年度事業の内容

氷見市では、昨年7月から実施した第2子保育料の無償化に加え、富山県の事業を活用して**本年9月から**、ひとり親世帯や経済的に厳しい状況にある一定の世帯等の経済的負担を軽減するため、**第1子の保育料を無償化します**。

3. 求める効果

保育料の無償化など、子育て支援の環境を整備することにより、仕事と子育てを両立させながら、安心して産み育てられる社会の実現を目指します。



3 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ④

継続 小・中学校ICT環境整備事業費 6,690万円（H29 4,804万円）

1. 事業の趣旨（現状と課題）

情報化や国際化等、急速に変化する社会では、基礎的な知識や技術を習得し、それを活用して自ら考え、様々な問題に積極的に対応する力を身につける必要があります。

このため、計画的にICT機器を整備し、ICT教育の充実を図ることが課題となっています。

2. 平成30年度事業の内容

ICT教育の推進として、昨年、**普通教室全教室に整備された電子黒板(58台)**や**各校1クラス分の人数に整備されたタブレットPC(462台)**を活用した学習を行います。

3. 求める効果

確かな学力を身につけた児童生徒の育成
発表する力、考える力の向上



電子黒板を活用した学習風景

3 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ⑤

拡充 外国語教育推進事業費

3,993万円（H29 2,649万円）

1. 事業の趣旨（現状と課題）

小学校の外国語活動、外国語科の授業の実施にあたり、中学校との連携やALT（外国語指導助手）の活用が一層求められるとともに、小学校教員の英語の指導力向上を図る研修が必要になります。また、ふるさと氷見について、英語で積極的に自分の考えを発信することができるようになることが望まれます。

2. 平成30年度事業の内容

小学校外国語活動、外国語科の授業におけるALTや中学校英語教員とのチームティーチングを推進します。また、全ての小学校教員が参加する研修を実施するほか、ふるさと教材英語版を作成し、授業での活用の促進を図ります。

3. 求める効果

小中学校教員の外国語教育への意識の高揚と指導力の向上
ふるさとを英語で発信したり、ふるさとについて互いの考えを交換したりすることができる力の育成



ALTによる外国語の学習風景

平成30年度
八代地区の事業概要について

工事(業務)箇所①

21

番号	工事(業務)名	工事 (業務) 場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額又は 現計予算額(円)
①	市道磯辺村木線測量設計業務委託	磯辺	H30.7.20	H30.11.30	2,023,920
②	市道磯辺村木線物件調査業務委託	磯辺	H30.8.23	H30.11.30	1,656,720
③	市道三十苅谷窪1号線側溝修繕	角間	H30.7.10	H30.8.24	559,980
④	磯辺地内除雪に伴う建物修繕	磯辺	H30.7.10	H30.8.31	450,684
⑤	吉滝地内除雪に伴う側溝修繕	吉滝	H30.7.9	H30.8.31	285,768
⑥	吉滝地内除雪に伴う舗装修繕	吉滝	H30.7.9	H30.8.31	296,892

工事(業務)箇所②

22

番号	工事(業務)名	工事 (業務) 場所	H30事業概要	予算額(円)	備考
⑦	【県】一般県道町山河原線道路改良工事	角間	道路改良一式	12,900,000	全体計画 (L=520m W=8m)
⑧	【県】磯辺地区砂防改良工事	磯辺	水路工一式	7,360,000	全体計画 (水路工)
⑨	【県】山崎谷砂防改良工事	吉滝	工事用道路の整備一式	20,000,000	全体計画 (堰堤工 N=1基)
⑩	【県】胡桃地区地すべり対策工事	胡桃	集水井工 N=1基	40,000,000	全体計画 A=324ha (地下水排除工、排土工等)

工事(業務)以外の事業①

番号	工事(業務)名	具体的な内容及び実施箇所	金額(円)	担当課	備考
①	地域活力施設整備支援事業補助金	公共掲示板の設置(胡桃)	175,000	地域振興課	
②	NPOバス運営推進事業	NPO過疎地バス路線支援事業費補助金(磯辺線)	5,608,915	地域振興課	
③	道路整備地域支援事業	簡易舗装1式(角間)	300,000	道路課	中田浦
④	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り、泥上げ等)、農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援 ・吉滝(1,236,719円) ・中田浦(260,640円) ・胡桃(1,803,258円)	3,300,617	農林畜産課	
⑤	中山間地域等直接支払交付金	農業生産活動維持のための江ざらい、農業施設の整備(農道、水路等の補修) ・吉滝(1,458,962円) ・中田浦(722,728円) ・胡桃(4,930,426円) ・城戸(575,520円) ・針木(1,124,981円) ・村木(672,886円)	9,485,503	農林畜産課	

工事(業務)以外の事業 ②

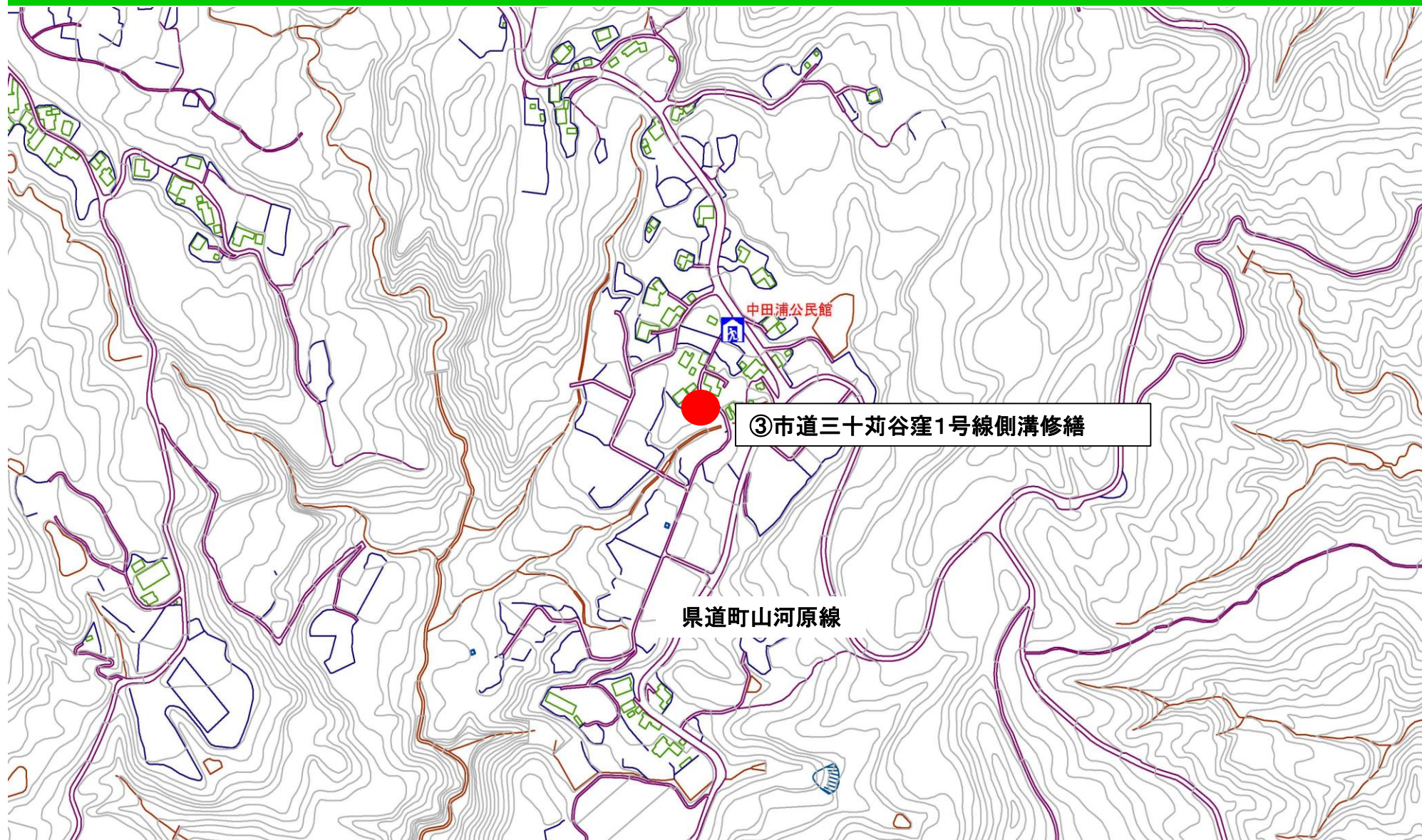
番号	工事(業務)名	具体的な内容 及び実施箇所	金額(円)	担当課	備考
⑥	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にしたレクリエーション教室の開催	4,200	健康課	磯辺・針木 角間
⑦	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者の食生活改善に関する教室の開催	3,000	健康課	磯辺・針木
⑧	高齢者料理教室	高齢者を対象としたバランスの取れた食生活に関する教室の開催	10,000	健康課	
⑨	住民健診PR活動(旗立て)	住民健診の受診勧奨のため、地区内にPRの旗を設置	2,000	健康課	7月～9月

八代地区の工事（業務） 箇所的位置図

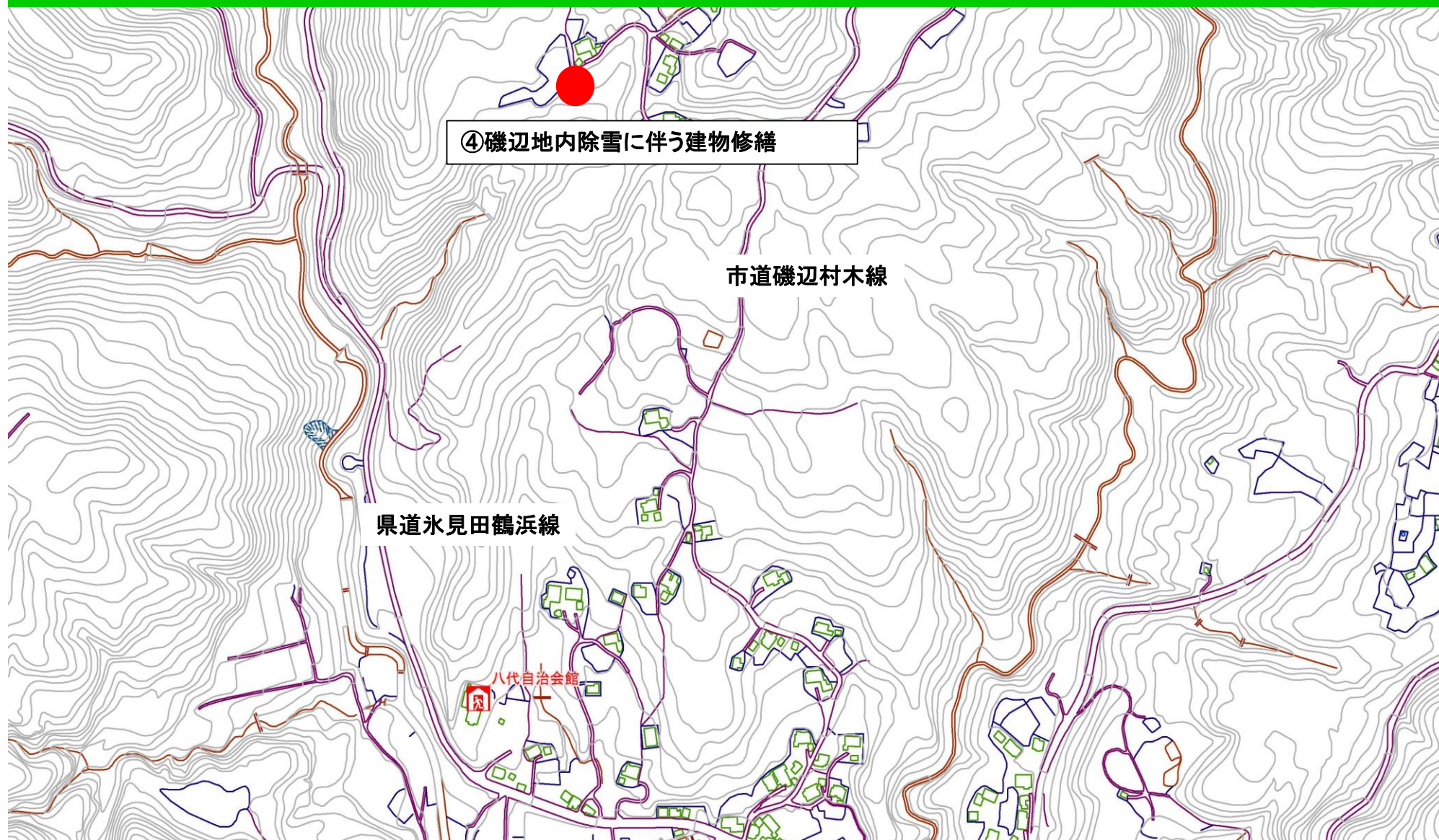
工事(業務)箇所的位置図①



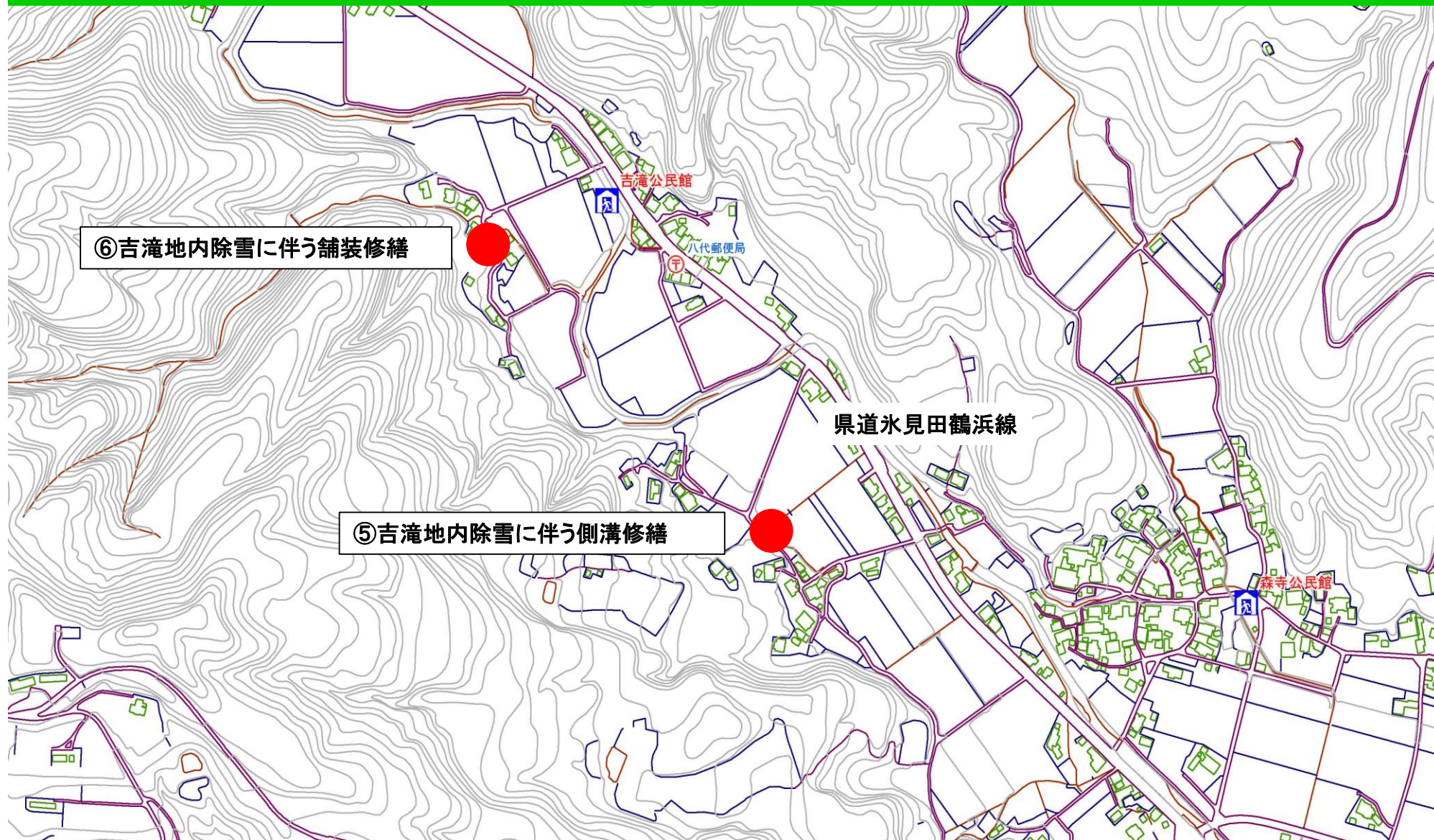
工事(業務)箇所的位置図 ②



工事(業務)箇所的位置図 ③



工事(業務)箇所的位置図④



工事(業務)箇所的位置図 ⑤

